

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001327394 A**

(43) Date of publication of application: **27.11.01**

(51) Int. Cl. **A47H 13/04**
A47H 13/14

(21) Application number: **2000153959**

(22) Date of filing: **25.05.00**

(71) Applicant: **SOKEN KK**

(72) Inventor: **KOJIMA MASANARI**

(54) **CURTAIN HANGING DEVICE, AND CURTAIN HANGER USED IN SAME DEVICE**

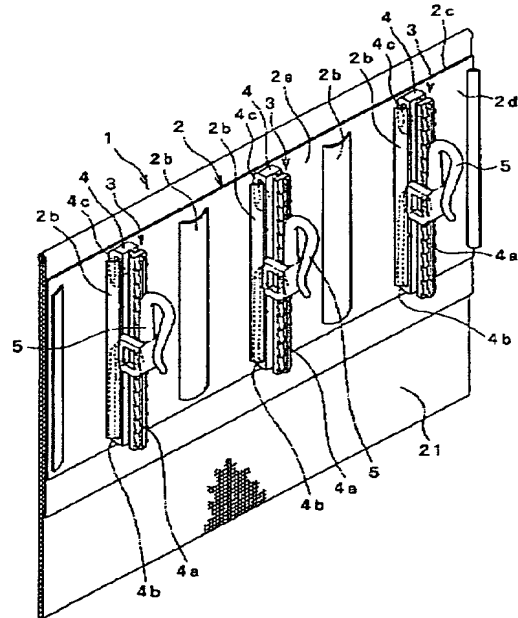
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a curtain hanging device, and a curtain hanger capable of neatly and easily hanging a curtain.

SOLUTION: This curtain hanging device 1 comprises a long tape 2 sewn to an upper edge part of a curtain 21, and plural hangers 3 of an elastic synthetic resin to be installed on the tape 2. The tape 2 comprises a tape base body 2a and a combined piece 2b. A main body 4 of the hanger 3 comprises a main rod 4a, a lower insert rod 4b, and an upper insert rod 4c. The lower insert rod 4b is inserted from a lower edge of the combined piece 2b of the tape 2 into between this and the tape base body 2a, and the upper insert rod 4c is inserted from an upper edge of the combined piece 2b into between this and the tape base body 2a. The hanger 3 is locked to the tape 2 at an upper and a lower positions of the main rod 4a, so falling or oscillating is less likely to occur, and it can be easily installed on a runner. The main rod 4a reinforces an edge part of the curtain 21, so its upper edge part is hard to bend. Since the insert rods 4b and 4c of the hanger 3 are flat, the main rod 4a will

not axially rotate, or the curtain 21 is not swollen by insertion of them.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO



Best Available Copy

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-327394
(P2001-327394A)

(43)公開日 平成13年11月27日(2001.11.27)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト(参考)
A 4 7 H 13/04 13/14		A 4 7 H 13/04 13/14	2 E 1 8 2

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願2000-153959(P2000-153959)

(22)出願日 平成12年5月25日(2000.5.25)

(71)出願人 394025647

装研株式会社

千葉県柏市十余二北庚塚313

(72)発明者 小島 勝成

東京都世田谷区松新町2-27-9-106

(74)代理人 100078950

弁理士 大塚 忠

Fターム(参考) 2E182 AA01 AB01 AC01 BB04 BB14

DJ01 DJ20 DJ27 DJ29 DJ32

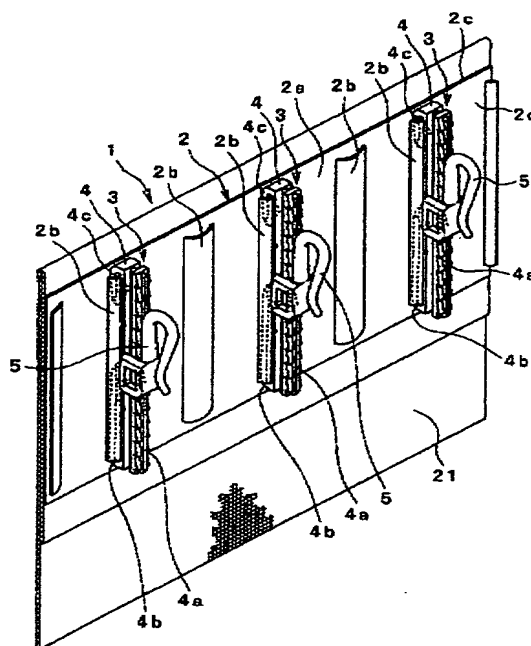
ED01

(54)【発明の名称】 カーテン吊り装置及びこれに用いられるカーテン吊り具

(57)【要約】

【課題】 カーテンを美しく、簡単に吊ることができるカーテン吊り装置と、カーテン吊り具を提供する。

【解決手段】 カーテン吊り装置1は、カーテン21の上縁部に縫い付けられる長尺のテープ2と、このテープ2に取付けられる弾性合成樹脂製の複数の吊り具3とを有する。テープ2は、テープ基体2aと重合片2bとを有する。吊り具3の本体4は、主杆4aと、下部挿入杆4b、上部挿入杆4cとを有する。下部挿入杆4bは、テープ2の重合片2bの下縁からテープ基体2aとの間へ挿入し、上部挿入杆4cは、重合片2bの上縁からテープ基体2aとの間へ挿入する。吊り具3は、主杆4aの上下位置においてテープ2に係止され、転倒や揺動が起きにくく、ランナへの装着も容易である。主杆4aがカーテン21の縁部を補強上縁部が折れ曲がりにくい。吊り具3の挿入杆4b、4cが扁平板状であるから、主杆4aの軸周り方向の回転が起きず、また挿入によってカーテン21が膨らまずきれいである。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カーテンの上縁部に沿って横方向に縫い付けられる長尺のテープと、このテープに横方向に相互間隔をおいて取付けられる弾性合成樹脂製の複数の吊り具とを具備し、

前記テープは、前記カーテンに密着する第 1 の面と、その反対側の第 2 の面とを有するテープ基体と、このテープ基体の第 2 の面上に長手方向に相互間隔をおいて複数設けられた重合片とを具備し、

前記吊り具は、本体と、この本体に結合され、ランナの吊り環へ掛け止め可能なフック体とから成り、

前記吊り具の本体は、縦方向に伸びる主杆と、前記テープの重合片の下縁からテープ基体との間へ挿入するために、主杆の下部から主杆の背部に沿って上方へ伸びる下部挿入杆と、重合片の上縁からテープ基体との間へ挿入するために、主杆の上部から主杆の背部に沿って下方へ伸びる上部挿入杆とを具備することを特徴とするカーテン吊り装置。

【請求項 2】 前記テープの重合片は、テープ基体の第 2 の面上に長手方向に相互間隔をおき、上下に離れて一対ずつ設けられ、

前記吊り具の下部挿入杆が、下方に位置する重合片の下縁からテープ基体との間へ挿入され、前記上部挿入杆が、上方に位置する重合片の上縁からテープ基体との間へ挿入されることを特徴とする請求項 1 に記載のカーテン吊り装置。

【請求項 3】 前記テープのテープ基体には、横方向にギャザー形成用の紐が貫通していることを特徴とする請求項 1 に記載のカーテン吊り装置。

【請求項 4】 前記吊り具の上部挿入杆及び下部挿入杆は、前記主杆の背面にほぼ平行な扁平板状に形成され、それによって前記テープの第 2 の面に対する主杆の軸周りの回転を阻止するように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のカーテン吊り装置。

【請求項 5】 前記吊り具の主杆の背面は、前記テープの第 2 の面に密着するようにほぼ平面状に形成され、前記上部挿入杆及び下部挿入杆は、主杆の背面にほぼ平行な扁平板状に形成され、それによってテープの第 2 の面に対する主杆の軸周りの回転を阻止するように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のカーテン吊り装置。

【請求項 6】 前記主杆に対して前記フック体がラチェット式に上下方向に相対移動自在に結合されていることを特徴とする請求項 1 に記載のカーテン吊り装置。

【請求項 7】 縦方向に伸びる主杆と、主杆の下部から主杆の背部に沿って上方へ伸びる下部挿入杆と、主杆の上部から主杆の背部に沿って下方へ伸びる上部挿入杆とを具備する弾性合成樹脂製のカーテン吊り具において、上部挿入杆及び下部挿入杆は、主杆の背面にほぼ平行な扁平板状に形成され、それによってカーテンへの取付面

に対する主杆の軸周りの回転を阻止するように構成されていることを特徴とするカーテン吊り具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、カーテンの上縁部に沿って横方向に長尺のテープを縫い付け、このテープに横方向に相互間隔をおいて複数の吊り具を取付けることにより、カーテンを簡易に吊り止めることができるカーテン吊り装置と、これに用いられるカーテン吊り具に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、カーテンの上縁部に沿って横方向に長尺のテープを縫い付け、このテープに横方向に相互間隔をおいて複数の吊り具を取付けることにより、カーテンを簡易に吊り止めることができるカーテン吊り装置が知られている。その一例を図 10 に示す。図 10 において、カーテン 21 の上縁部に沿って横方向に長尺のテープ 22 が縫い付けられている。テープ 22 は、テープ基体 22a と、そのカーテンと反対側の面に、長手方向に相互間隔をおいて複数設けられた重合片 22b とを具備する。テープ基体 22a には、ブリーツ形成用の複数の紐 22c が、長手方向に貫通している。この紐 22c を引くことにより、カーテン 21 の上縁部にブリーツが形成される。重合片 22b は、上下に離れて一対ずつ設けられている。この重合片 22b に、フック 24 を掛けてカーテンランナに吊り止める。フック 24 は、カーテン 21 の上縁に形成されたヒダ部に下方から挿入杆を挿入して装着する一般的針金フックと異なる特殊形状である。上下何れの重合片 22b にフック 24 を掛けるか、を選択することにより、カーテン 21 の吊り位置を上下に調整する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のカーテン吊り装置においては、フック 26 が左右に移動したり、カーテンの面に沿って回転して転倒し易く、カーテン 21 に対する配置が不安定であるため、ランナへの装着作業に手間取る難点がある。また、フック 26 が特殊形状であるため、テープ 22 への装着操作にも手間がかかる。さらに、フック 24 を下方の重合片 22b に掛ける場合、カーテン 21 の上縁部がレールに接触したりして折れ曲がりやすく、きれいにカーテンを吊ることができない難点がある。従って、本発明は、カーテンへフックを安定的に取り付けることができ、ランナへの装着、カーテンへの装着に手間がかからず、カーテンの吊り位置を下方に設定しても、カーテンの上縁部が折れにくいカーテン吊り装置と、これに用いられるカーテン吊り具を提供することを課題としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明においては、上記課題を解決するため、カーテン 21 の上縁部に沿って横

3

方向に縫い付けられる長尺のテープ2と、このテープ2に横方向に相互間隔をおいて取付けられる弾性合成樹脂製の複数の吊り具3とを具備させてカーテン吊り装置1を構成する。テープ2には、テープ基体2aと重合片2bとを具備させる。テープ基体2aのカーテン21と反対側の面2d上に、長手方向に相互間隔をおいて複数の重合片2cを設ける。吊り具3の本体4には、縦方向に伸びる主杆4aと、その上下の背部に伸びる下部挿入杆4b、上部挿入杆4cとを具備させる。下部挿入杆4bは、テープ2の重合片2bの下縁からテープ基体2aとの間へ挿入するために、主杆4aの下部からその背部に沿って上方へ伸び、上部挿入杆4cは、重合片2bの上縁からテープ基体2aとの間へ挿入するために、主杆4aの上部からその背部に沿って下方へ伸びる。吊り具3は、例えば下部挿入杆4bを重合片2bに挿入して、カーテン21の上縁部を僅かに撓ませた状態で、上部挿入杆4cを重合片2bの上縁から挿入することで容易に装着できる。吊り具3は、主杆4aの上下位置においてテープ2に係止されるから、転倒、揺動、軸周り回転が起きにくく、ランナへの装着を迅速に行える。主杆4aがカーテン21の縁部を補強するので、吊り位置が下方であってもカーテン21の上縁部が折れ曲がりにくい。吊り具3の上部挿入杆4c及び下部挿入杆4bを主杆4aの背面にはほぼ平行な扁平板状に形成すれば、テープ2に対する主杆4aの軸周り方向の回転が阻止されるし、挿入杆4b、4cの挿入によってカーテン21が膨らむことがないのでカーテン21をきれいに吊ることができる。上下部挿入杆4b、4cによってカーテン21に係止されるので、応力が分散し、一方の挿入杆のみに応力が集中することがなく、従って、これらを扁平板状に肉薄に形成しても強度上の問題が生じない。

【0005】

【発明の実施の形態】図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。図1は本発明に係るカーテン吊り装置のカーテンへの装着状態の斜視図、図2は本発明に係るカーテン吊り装置のカーテンへの装着状態の正面図、図3は図2におけるIII-III断面図、図4はテープの横断平面図、図5はテープの縦断側面図、図6はカーテン吊り具の側面図、図7はカーテン吊り具の背面図、図8は他の実施形態のカーテン吊り装置の正面図、図9は他の実施形態のカーテン吊り具の側面図、図10は従来例の斜視図である。

【0006】図1乃至図3において、カーテン吊り装置1は、カーテン21の上縁部に沿って横方向に縫い付けられる長尺のテープ2と、このテープ2に横方向に相互間隔をおいて取付けられる弾性合成樹脂製の複数の吊り具3とを具備する。

【0007】図2、図4、図5に示すように、テープ2は、長尺帯状のテープ基体2aと、テープ基体2a上に設けられる重合片2bとを具備する。テープ基体2a

4

は、カーテン21に密着する第1の面2cと、その反対側の第2の面2dとを有する。テープ基体の面2d上に、長手方向に相互間隔をおいて複数の重合片2bが設けられる。重合片2bは、テープ2の長手方向の両側辺においてテープ基体2aに融合し、上下の辺はテープ基体2aとの間が開放している。図示の実施形態において、テープ2は、テープ基体2aと重合片2bとを一体に織成又は編成したものである。

【0008】図6、図7に示すように、吊り具3は、本体4と、この本体4にラチェット式に移動自在に結合され、ランナの吊り環へ掛け止め可能なフック体5とから成る。本体4は、縦方向に伸びる主杆4aと、テープ2の重合片2bの下縁からテープ基体2aとの間へ挿入するための下部挿入杆4bと、重合片2bの上縁からテープ基体2aとの間へ挿入するための上部挿入杆4cとを具備する。下部挿入杆4bは、薄板状で、主杆4aの下部からそれ背部に沿って上方へ伸び、主杆4aの1/2の高さに到らずに終結する。上部挿入杆4cは、同じく薄板状で、主杆4aの上部からその背部に沿って下方へ伸び、主杆4aの1/2の高さに到らずに終結する。

【0009】吊り具3は、テープ2への装着状態において、主杆4aと挿入杆4b、4cとの間で重合片2bを挟持する。主杆4aと挿入杆4b、4cの挟持面が平面状であるから、装着状態において、主杆4aが軸周りに回転しにくく、常時フック体5が、カーテンに対してほぼ垂直に起立するように配置される。このため、フック体5をランナへ掛け止める作業を迅速に行える。主杆4aが、所定の上下幅にわたって、カーテン21の上縁部に沿うことになるので、この部位でカーテン21が折れ曲がることのない。

【0010】図8に示す他の実施形態において、テープ2の重合片2bは、テープ基体2aの第2の面2d上に、長手方向に相互間隔をおき、上下に離れて一対ずつ設けられている。これに対して、吊り具3の下部挿入杆4bが、下方に位置する重合片2bの下縁からテープ基体2aとの間へ挿入され、上部挿入杆4cが、上方に位置する重合片2bの上縁からテープ基体2aとの間へ挿入される。テープ基体2aには、横方向にギャザー形成用の紐2eが貫通している。紐2eを引き締めることにより、テープ2にギャザーが形成される。

【0011】図9には、吊り具3の他の実施形態を示す。この実施形態においては、吊り具3の本体4とフック体5とが、一体のものとして構成される。この場合に、本体4に対するフック体5の上下位置の異なるものを複数用意すれば、吊り具3を適宜選択してカーテンの吊り位置を上下に調整できる。

【0012】

【発明の効果】以上のように、本発明においては、吊り具3が、主杆4aの上下位置においてテープ2に係止されるから、転倒、揺動、軸周り回転が起きにくく、カー

5

テンをきれいに吊ることができ、またランナへの装着を迅速に行える。主杆4aがカーテン21の縁部を補強するので、吊り位置が下方にあってカーテン21の上縁部が折れ曲がりにくい。吊り具3の上部挿入杆4c及び下部挿入杆4bを主杆4aの背面にはば平行な扁平板状に形成すれば、テープ2に対する主杆4aの軸周りの回転がより効果的に阻止されるし、挿入杆4b、4cの挿入によって、その挿入部においてカーテン21が膨らむことがないので、カーテン21をきれいに吊ることができる。上下2つの挿入杆4b、4cによってカーテン21に係止されるので、応力が分散し、一方の挿入杆のみに応力が集中することがなく、従って、これらを扁平板状に肉薄に形成しても強度上の問題が生じない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るカーテン吊り装置のカーテンへの装着状態の斜視図である。

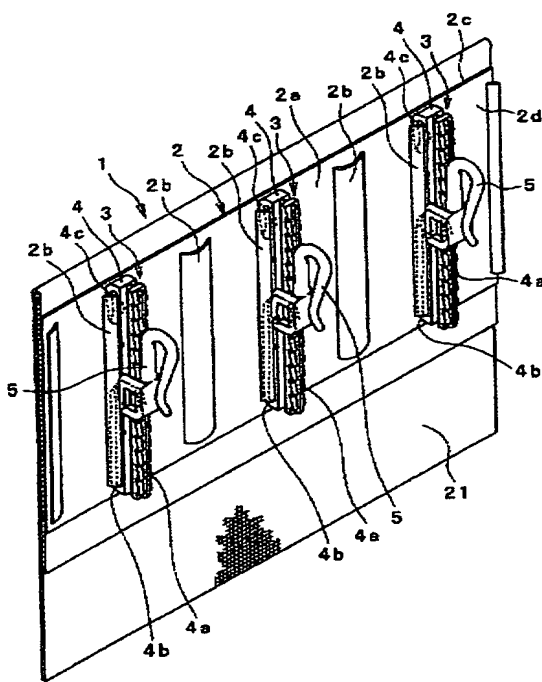
【図2】本発明に係るカーテン吊り装置のカーテンへの装着状態の正面図である。

【図3】図2におけるIII-III断面図である。

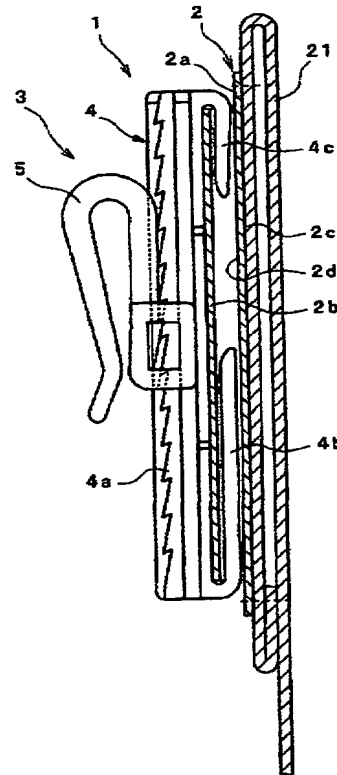
【図4】テープの横断平面図である。

【図5】テープの縦断側面図である。

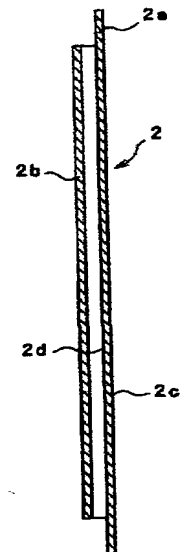
【図1】



【図3】



【図5】



6

* 【図6】カーテン吊り具の側面図である。

【図7】カーテン吊り具の背面図である。

【図8】他の実施形態のカーテン吊り装置の正面図である。

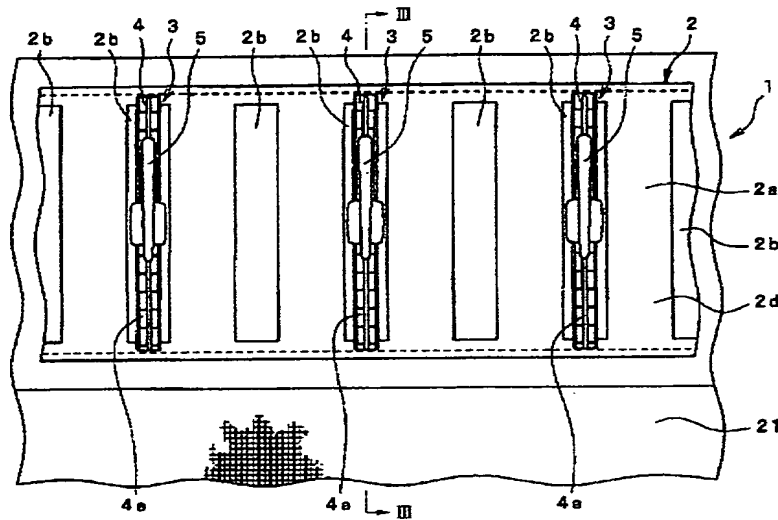
【図9】他の実施形態のカーテン吊り具の側面図である。

【図10】従来例の斜視図である。

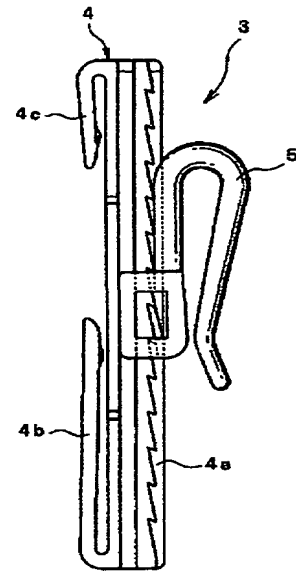
【符号の説明】

- 1 カーテン吊り装置
- 2 テープ
- 2a テープ基体
- 2b 重合片
- 2c 第1の面
- 2d 第2の面
- 3 カーテン吊り具
- 4 本体
- 4a 主杆
- 4b 下部挿入杆
- 4c 上部挿入杆
- 5 フック体
- 20
- * 21 カーテン

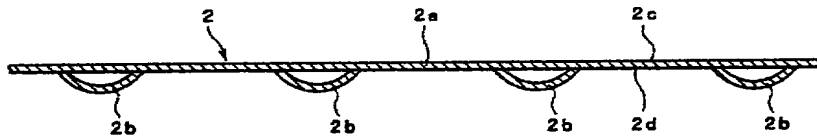
【図2】



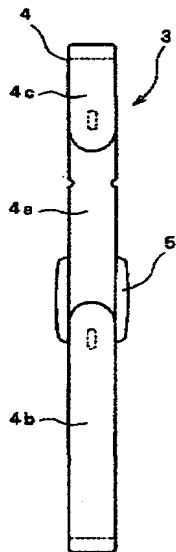
【図6】



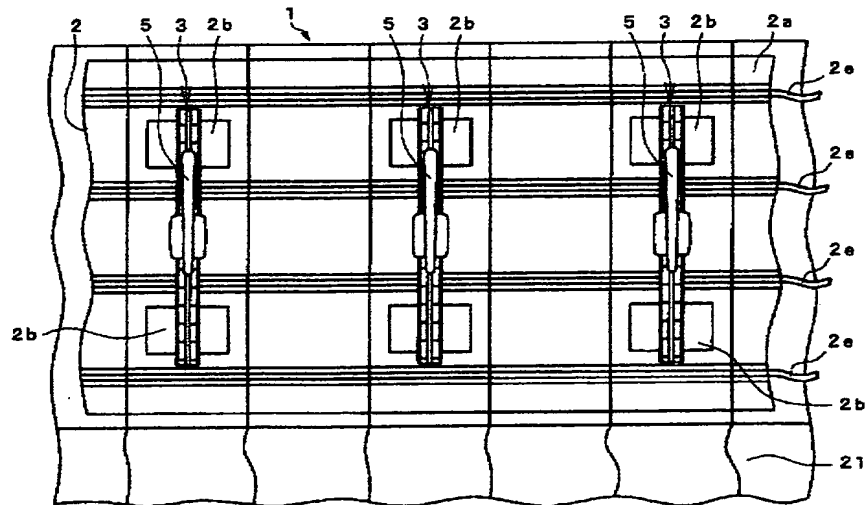
【図4】



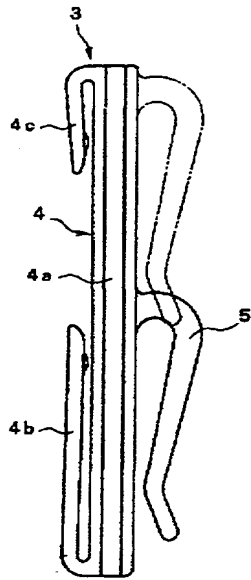
【図7】



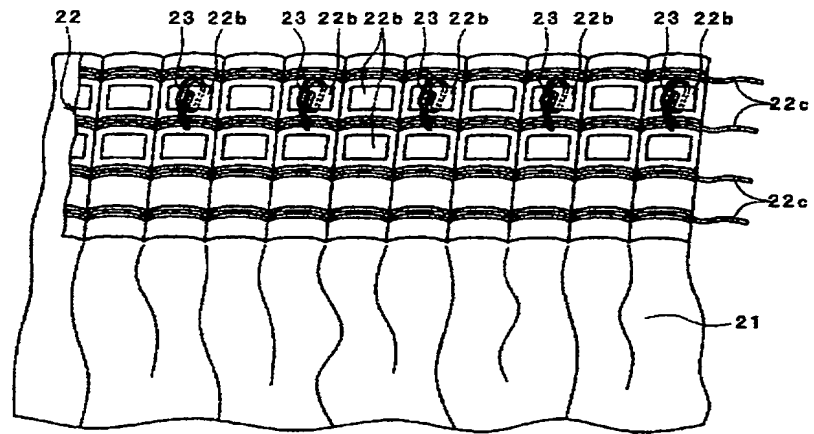
【図8】



【図9】



【図10】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.